

沖縄県

第12回県民意識調査

くらしについての アンケート結果

概要版

(令和6年9月調査)

- 沖縄県では、県民の皆さんの意識や価値観、ニーズ等の変化の状況を把握し、県政運営に役立てるため、昭和54年から概ね3年又は5年ごとに、県民意識調査を行っています。
- 今回は直近2回と同じく、「**県民意識調査(本調査)**」に加えて、離島住民のみを対象とした「**離島住民特別調査(離島調査)**」を行いました。
- 調査では、その時々々の社会事情等を考慮した質問を設けており、今回の調査では、「こどもまんなか社会」、「SDGs」に関する質問を設けています。

※調査設計等の概要は、最終ページをご覧ください。

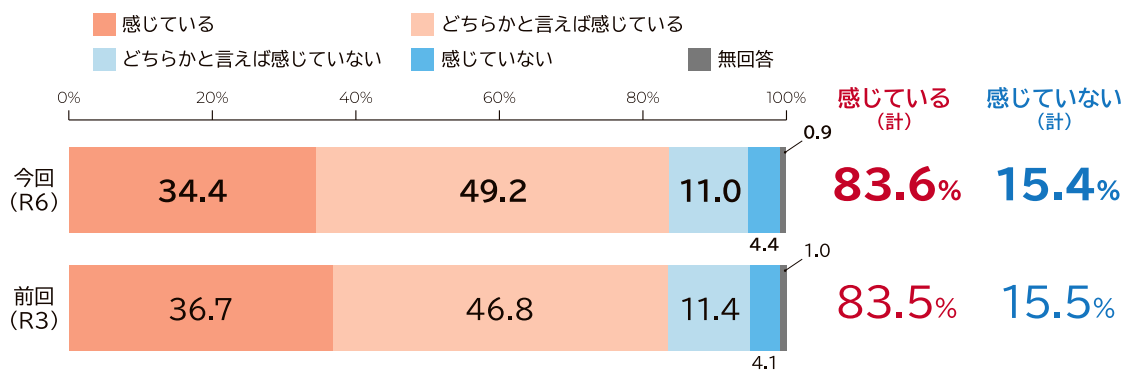
※次のページからの図表などでは、県民意識調査を「本調査」、離島住民特別調査を「離島調査」と表示しています。

県民の自己像

幸せ感

ー今、「幸せ」だと感じていますか？ー

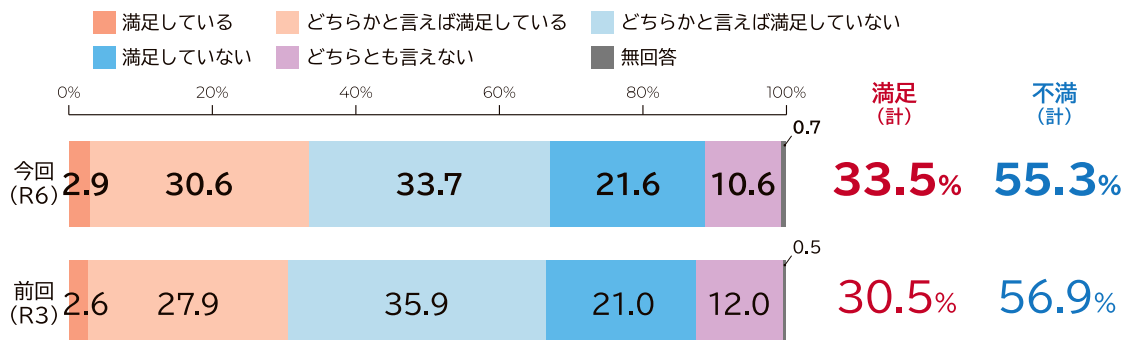
- ✓ 幸せを「感じている」「どちらかと言えば感じている」の割合の合計は 83.6%と、前回調査と同程度となっています。



社会に対する満足度

ー現在の社会に全体として満足していますか？ー

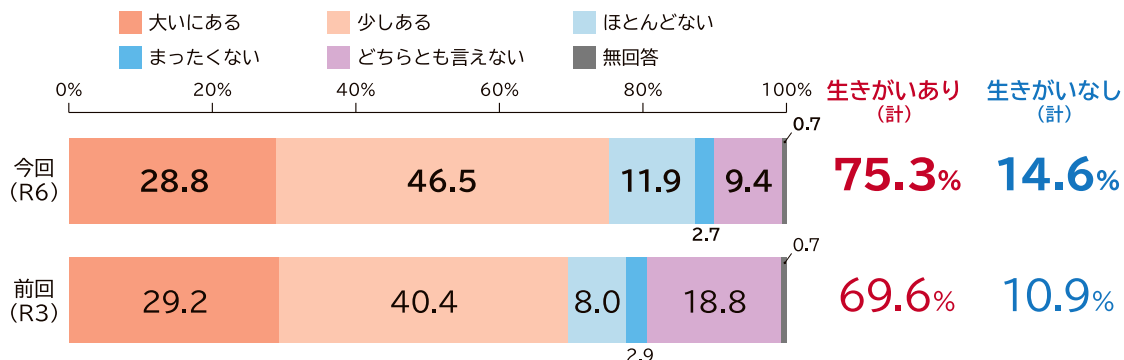
- ✓ 現在の社会について「満足していない」「どちらかと言えば満足していない」の割合の合計は 55.3%となっています。前回調査と比較して「満足している」「どちらかと言えば満足している」の割合の合計は3ポイント増えています。



生きがい

ー「生きがい」にしていることはありますか？ー

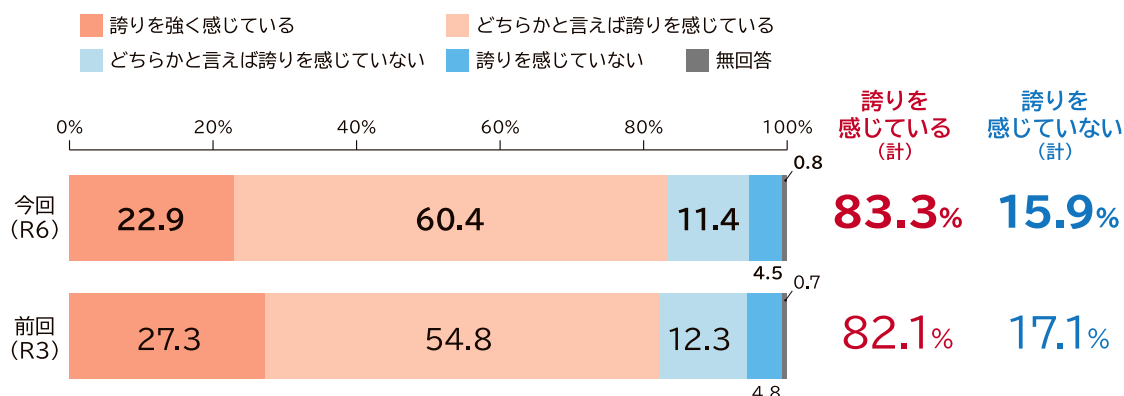
- ✓ 生きがいについて、「大いにある」「少しある」の割合の合計は 75.3%と、前回調査よりも 5.7ポイント高まっています。



沖縄県への誇り

－沖縄県に誇りを感じますか？－

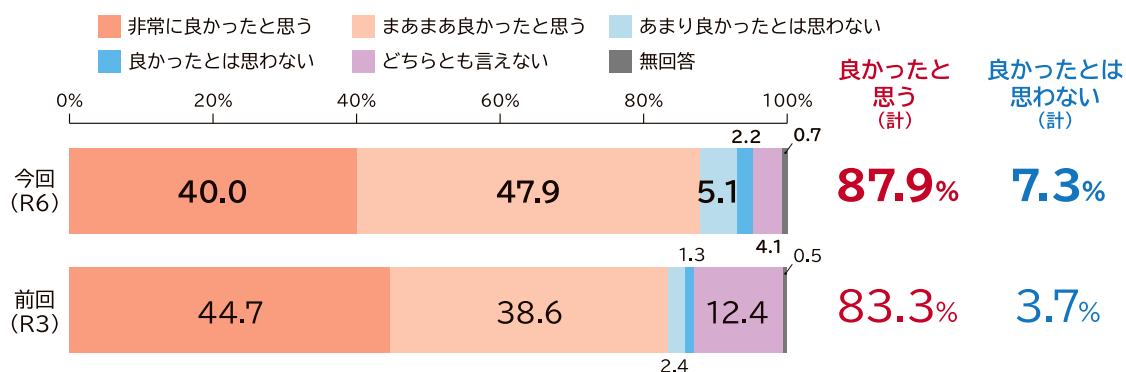
- ✓ 沖縄県に「誇りを強く感じている」「どちらかと言えば誇りを感じている」の割合の合計は 83.3%と、前回調査と同程度となっています。



沖縄県に生まれて良かったか

－沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思いますか？－

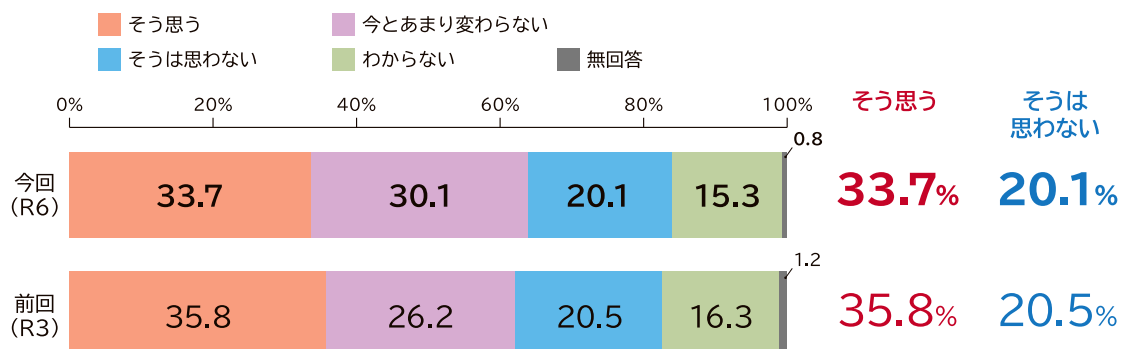
- ✓ 沖縄県に生まれ、あるいは生活できて「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」の割合の合計は 87.9%となっています。



20年先の沖縄

－20年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いていると思いますか？－

- ✓ 20年先の沖縄が現在よりも発展し、輝いていると思う(「そう思う」)の割合は、33.7%と最も高く、次いで「今とあまり変わらない」となっています。前回調査と比べて「今とあまり変わらない」の割合が、3.9ポイント増えています。

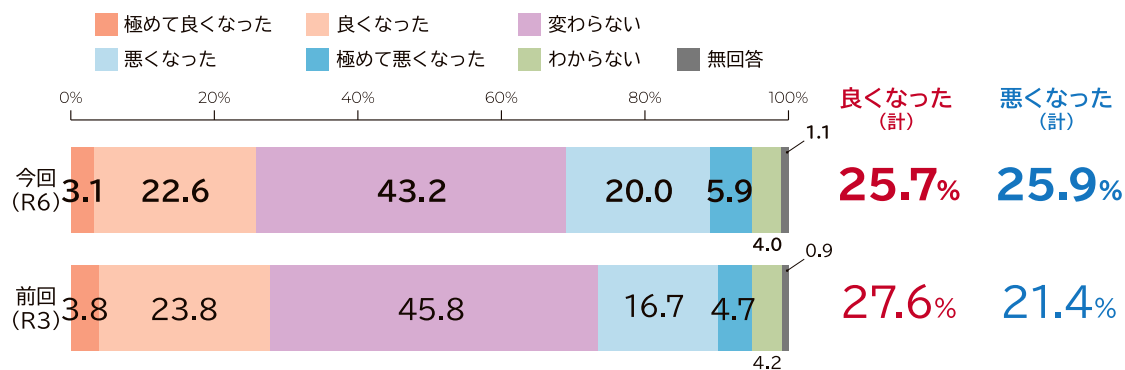


生活状態（くらしむき）

生活状態の変化

－生活状態（くらしむき）は、4、5年前に比べてどうですか？－

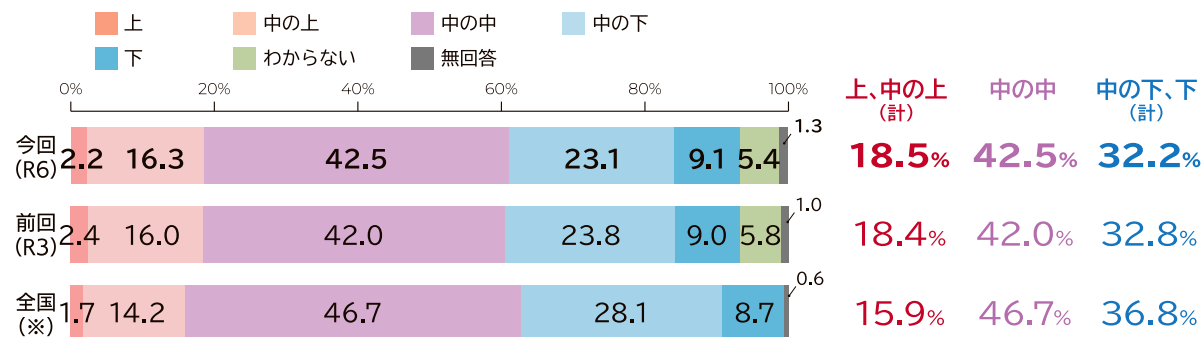
- ✓ 「変わらない」は、43.2%と最も割合が高くなっています。前回調査と比べて「悪くなった」「極めて悪くなった」の割合の合計は、4.5ポイント増加しています。



現在の生活状態

－現在の生活状態（くらしむき）は、一般的にみて次のどれにあたると感じますか？－

- ✓ 「中の中」の割合が 42.5%と最も高く、前回調査と同程度となっています。なお、全国と比べると、「上」と「中の上」を合わせた割合は 2.6ポイント高く、「中の下」と「下」を合わせた割合は 4.6ポイント低くなっています。

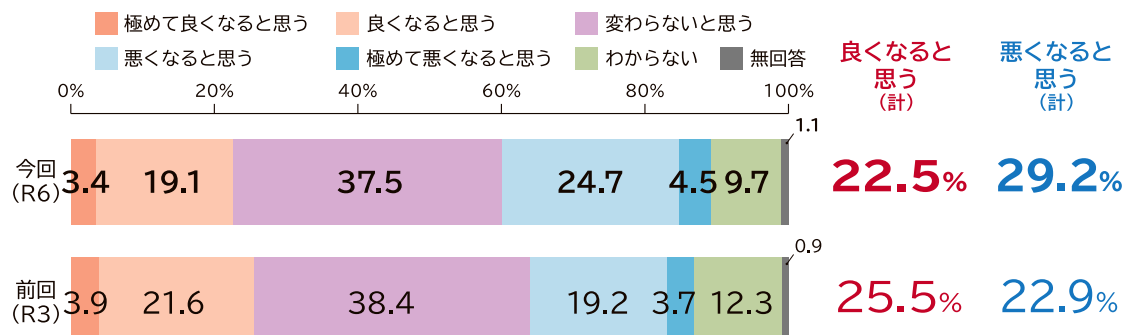


(※) 全国の調査結果は、内閣府「国民生活に関する世論調査」（令和6年8月調査）

生活状態の見通し

－生活状態（くらしむき）は、今後はどうなると思いますか？－

- ✓ 前回調査と比べて、「悪くなると思う」と「極めて悪くなると思う」の割合の合計は、6.3ポイント増加しています。



生活に関する事柄の重要度・充足度

県民の日常生活に必要な事柄を 78 項目に整理して、「重要度」と「充足度（満足度）」を 6 段階評価で質問。

生活に関する事柄の重要度

一次にあげる事柄(78項目)は、あなたの今の暮らしにとってどのくらい重要ですか？

- ✓ 今の暮らしにとって重要な事柄は、「安心して家庭で水が使える」「老後に不安のない年金が得られる」をはじめとした安心・安全な生活基盤や、医療に関すること、年金等の収入に関すること、物価に関することなどが上位にあがっています。
- ✓ 平成27年度調査と比べて重要度が高まった項目は、インターネットの接続環境、目的地までの円滑な移動などです。

重要度※ 上位10項目 ※「非常に重要である」の割合

(%)

順位	項目	今回 [令和6年]		令和3年		平成30年		平成27年
1位	安心して家庭で水が使える	84.4	←	83.5 (1位)	←	80.1 (1位)	↗	79.2 (2位)
2位	老後に不安のない年金が得られる	78.4	↗	77.4 (4位)	←	74.5 (4位)	↙	80.2 (1位)
3位	犯罪がない安心なくらしの確保	78.3	←	78.1 (3位)	↙	76.3 (2位)	↗	79.1 (3位)
4位	救急患者が適切な治療を受けられる	77.7	↙	79.8 (2位)	↗	75.5 (3位)	↗	74.4 (4位)
5位	下水道が整備されている	75.5	↗	74.3 (6位)	↗	69.1 (7位)	↗	67.4 (10位)
6位	良質な医療が受けられる	75.4	↙	75.6 (5位)	←	71.9 (5位)	↗	72.3 (7位)
7位	費用の心配なく、医療を受けられる	73.9	←	73.4 (7位)	↙	70.7 (6位)	↙	73.7 (5位)
8位	物価が安定している	73.0	↗	64.2 (17位)	←	62.4 (17位)	←	65.5 (17位)
9位	収入が着実に増える	72.2	↗	66.7 (14位)	↙	65.2 (10位)	↙	68.0 (8位)
10位	少年の非行や犯罪が少なくなる	71.1	↙	69.6 (8位)	←	68.0 (8位)	↙	73.7 (5位)

(注)矢印は、順位の昇・降を表している

重要度の割合が高まった項目

[平成27年]から[非常に重要である]の伸びが **+5ポイント以上の項目(全9項目)**

快適にインターネットにつながる	+19.6ポイント	(R6:46.4%←H27:26.8%)
目的地まで円滑に移動できる	+10.0ポイント	(R6:60.6%←H27:50.6%)
下水道が整備されている	+8.1ポイント	(R6:75.5%←H27:67.4%)
物価が安定している	+7.5ポイント	(R6:73.0%←H27:65.5%)
生活に必要な施設がある	+6.7ポイント	(R6:60.3%←H27:53.6%)

<上位6位以下の項目>

- 住環境が良好
- イライラやストレスなど精神的緊張が少ない
- 安心して家庭で水が使える
- 公共交通機関が利用しやすい

生活に関する事柄の充足度

一次にあげる事柄(78 項目)について、今それぞれがどのくらい満たされていますか？

- 生活に関する事柄は、「安心して家庭で水が使える」、「下水道が整備されている」、「生活に必要な施設がある」の順で充足度の割合が高くなっており、これらの上位 3 項目は過去 3 回の調査と同じです。
- 平成 27 年度調査と比べて充足度が高まった項目は、医療や就労、健康の相談に関することなどです。

充足度※ 上位10項目 ※「非常に満たされている」+「ある程度満たされている」の割合

(%)

順位	項目	今回 [令和6年]		令和3年		平成30年		平成27年
1位	安心して家庭で水が使える	73.1	←	77.7 (1位)	←	78.5 (1位)	←	80.3 (1位)
2位	下水道が整備されている	67.4	←	67.5 (2位)	←	64.9 (2位)	←	68.2 (2位)
3位	生活に必要な施設がある	59.3	←	62.9 (3位)	←	56.7 (3位)	←	58.1 (3位)
4位	住環境が良好	54.8	←	55.5 (4位)	←	48.9 (4位)	←	50.5 (4位)
5位	公園や親しめる自然などがまわりにある	51.2	↗	50.5 (7位)	↗	45.8 (8位)	↗	46.3 (6位)
6位	食の安全・安心が確保されている	51.0	↖	52.9 (5位)	←	47.7 (5位)	↗	45.6 (8位)
7位	犯罪がない安心なくらしの確保	50.4	↖	51.2 (6位)	↗	47.1 (7位)	←	45.9 (7位)
8位	豊かな自然が保全されている	50.2	↗	48.1 (9位)	↖	47.2 (6位)	↖	47.6 (5位)
9位	商品等の品質等が確保されている	49.8	↖	50.3 (8位)	↗	45.0 (9位)	←	44.3 (9位)
10位	良質な医療が受けられる	48.8	←	45.4 (10位)	↗	39.2 (13位)	↖	43.4 (12位)
	健康診断、健康の相談が受けやすい	48.8	↗	43.2 (12位)	↖	40.7 (11位)	↗	41.2 (15位)

(注)矢印は、順位の上昇・下降を表している

充足度の割合が高まった項目

[平成27年]から[満たされている]の伸びが **+5ポイント以上**の項目(全14項目)

費用の心配なく、医療を受けられる	+9.5 ポイント	(R6:37.8%←H27:28.3%)
失業の不安がなく働ける	+9.1 ポイント	(R6:28.6%←H27:19.5%)
仕事と生活が両立しやすい職場環境	+9.0 ポイント	(R6:31.0%←H27:22.0%)
近くで希望する仕事につける	+7.9 ポイント	(R6:30.5%←H27:22.6%)
健康診断、健康の相談が受けやすい	+7.6 ポイント	(R6:48.8%←H27:41.2%)

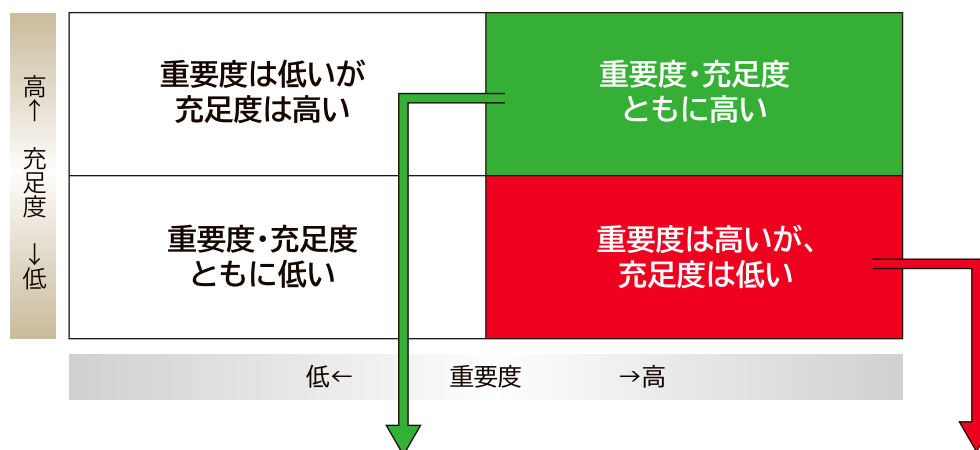
<上位 6 位以下の項目>

- 快適にインターネットにつながる
- 収入が着実に増える
- 夫婦が協力して家事や育児にとりくむ
- 自分の住む町の景観、町並みが美しい
- 商品等の品質等が確保されている
- 良質な医療が受けられる
- 食の安全・安心が確保されている
- 適職、やりがいのある仕事ができる
- 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとくらせる

県民からみた重要度・充足度

- ✓ 県民の日常生活に必要な事柄 78 項目の重要度・充足度の平均得点を算出し、その関係性から県民ニーズの状態を 4 つの区分に分類しました(下図参照)。
- ✓ 重要度・充足度ともに相対的に高い区分には、上下水道のことをはじめとした 24 項目が該当しています。これらについては現在の充足度は高い状況ですが、ニーズも高いため、引き続き維持・強化が必要な項目と位置づけられます。
- ✓ 一方、相対的に重要度は高いが充足度は低い区分には収入や就労、教育に関することなど 18 項目が該当しており、県民ニーズに対する取組が求められる項目と位置づけられます。

重要度・充足度の関係 ※平均得点に基づく整理



重要度・充足度ともに高い

- 安心して家庭で水が使える
- 下水道が整備されている
- 生活に必要な施設がある
- 商品等の品質等が確保されている
- 食の安全・安心が確保されている
- 住環境が良好
- 健康診断、健康の相談が受けやすい
- 犯罪がない安心なくらの確保
- 良質な医療が受けられる
- 救急患者が適切な治療を受けられる
- 公園や親しめる自然などがまわりにある
- 配偶者等からの暴力の防止と被害者への支援環境の充実
- 平和を願う心が継承、発信されている
- 夫婦が協力して家事や育児にとりくむ
- 防災対策が充実している
- 健康の維持や増進に努める
- 安心して子どもを生み育てられる環境が整っている
- 適職、やりがいのある仕事ができる
- 学童保育所等が利用しやすい
- 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとくらせる
- 廃棄物の適正処理、減量化等が活発
- 健全育成が図られる教育環境がつけられている
- こどもの権利が尊重され、社会参加の機会が増える
- 交通の安全が確保されている

※充足度が高い順

重要度は高いが充足度は低い

- 物価が安定している
- 老後に不安のない年金が得られる
- 収入が着実に増える
- 目的地まで円滑に移動できる
- 優れた能力や感性を育む教育環境の充実
- 障害者の社会参加が拡大している
- 近くで希望する仕事につける
- 公共交通機関が利用しやすい
- イライラやストレスなど精神的緊張が少ない
- 赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる
- 介護サービスが充実し利用しやすい
- 公平な教育機会が確保されている
- 失業の不安がなく働ける
- 多様なニーズに対応する学び直しの機会の充実
- 必要な資質を身に付けられる教育環境
- 少年の非行や犯罪が少なくなる
- 仕事と生活が両立しやすい職場環境
- 費用の心配なく、医療を受けられる

※充足度が低い順